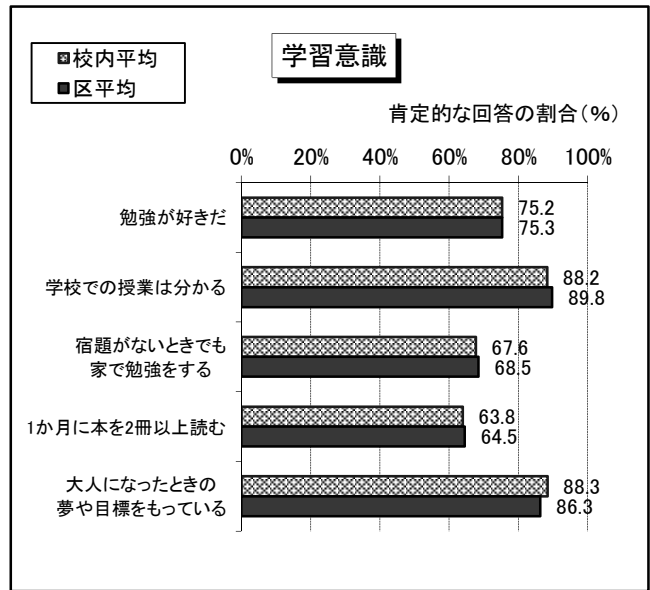
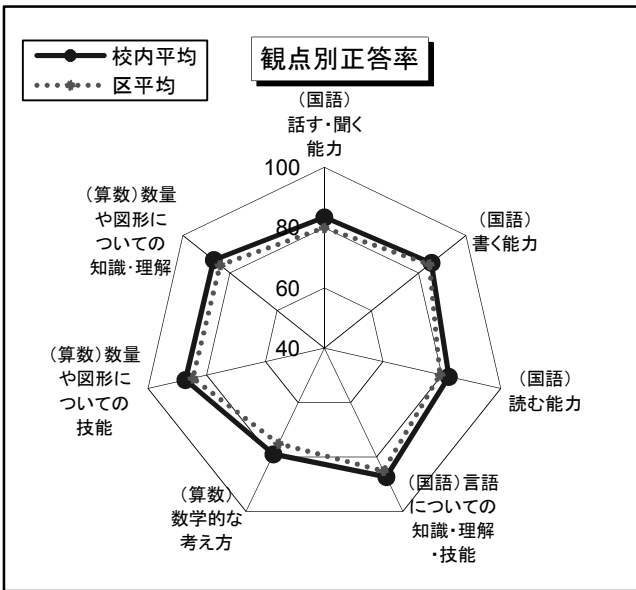


足立区立伊興小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (H29)			78.9	80.9	73.0	72.2	67.2	73.3	69.3	69.6	69.6	67.3
通過率 (H29)	85.5	87.5	80.9	94.4	88.8	87.6	81.2	89.2	93.5	85.1	83.7	81.6
目標値 (H28)			80.2	83.1	73.4	71.3	70.4	73.9	67.7	67.8	68.2	69.6
通過率 (H28)	70.5	67.4	61.2	74.1	66.0	55.7	77.4	69.9	76.2	71.3	70.8	67.0
平均正答率 (H29)	85.5	86.1	88.6	92.1	88.4	85.5	80.1	87.3	86.9	84.1	84.7	80.8
平均正答率 (H28)	77.2	76.6	80.9	86.6	75.7	70.5	77.1	77.3	80.8	76.0	72.9	73.7

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
 ◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合（目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100（%））
 ◎正答率：出題数中何問正解したかの割合（正答数÷出題数×100（%））

「学習定着度調査」分析結果

<平成28年度と平成29年度における通過率及び平均正答率から>

- 通過率については、国語・算数ともに全学年が80%を超えた。平成28年度と比べてもすべての学年・教科で3.8~32.0ポイント上昇している。平均正答率に関しても同様の傾向であることから、学力向上に対する方針や取り組みを学校全体として共有・実施してきた成果と考える。

<観点別正答率から>

- 国語・算数ともにすべての観点で区平均を上回った。国語の「書く能力」や算数の「数量や図形についての技能」は区平均を上回った数値が他の観点より低いため、より力を入れて指導する余地がある。文章で表現する機会は各教科の授業等で意識して取り入れてきたが、質の向上を図る取り組みまでには至っていないと考える。算数における技能については、計算以外の測定や作図等についても、取り組みの一層の充実を図る必要がある。

<学習意識から>

- 「勉強が好きだ」「学校での授業は分かる」「宿題がないときでも家で勉強をする」などの項目が区平均を下回っている。学力の重要な要素である学習意欲を喚起し、個々が学習成果を実感できるような「楽しい授業」「分かる授業」の具現化に向けた改善が求められている。

学校による学力向上への主な取り組み

- 朝学習では、毎回のミニテストやプリントで全員が正答率80%以上の結果を出せるようにする。火曜日は漢字の習得確認テスト、水曜日は計算等の既習事項確認テストを行う。
- 放課後学習教室の月曜日は、ポートフォリオ等で明らかになっているつまずきについて、各学級で補習を行う。同様の内容について火曜日は学年で、特に必要な児童を10名程度取り出して個別指導を行う。木曜日は朝学習の未合格児童へ漢字の習得に向けた指導を行う。
- 日々の授業改善については、①足立スタンダードを基にした授業、②ノート指導の統一、③問題文の正しい読み取り（キーワードに線引き）、④百マス作文を全学年において実施する。
- 家庭学習の充実のために、勉強時間の目標（15分×学年）を示したり、自主学習の形式を定めたり、区調査で明らかになった弱点を補充する課題に取り組みせたりする。
- 夏ががんばり教室において、学年の担任による少人数指導を進める。夏休み前までの学習内容及び既習事項でつまずきが顕著な部分を重点的に指導する。
- 学級集団に関する評価を行い、学級や児童の実態に応じて、学年・学校ぐるみで意図的・計画的に肯定的な関わりを育む取り組みを展開していく。